

0718 P.M. 受.

小中特別支援学校長 殿

参考

平成30年7月18日

瀬戸市教育委員会

異常気象下における熱中症対策について

今夏の異常気象においては、熱中症による事故が発生する可能性が高いという認識の下、猛暑下においては下記の配慮を徹底するようお願いします。

記

- 以下2点をメール配信で保護者に呼びかける。
- 水分を出来るだけたくさん持たせるよう依頼する。特に、明日・明後日においてはお茶のみならず、スポーツドリンク等も可とする。
 - 帽子の着用や保冷材の活用を推奨する。
- 毎時間の授業で健康観察を行う。体調不良者はエアコンのある部屋で休ませ、早い段階で救急搬送の判断をする。また、回復した場合でも1人では帰宅させず保護者の迎えを依頼する。
- 体調不良の有無にかかわらず、下校前にも健康観察を行う。
- 学校規模によってはコンピュータ室等、エアコンのある部屋を有効活用する。
- 体育の授業は屋外では行わず（プール可）、体育館・柔道剣道場で行う。
- 特に、夏季休業中の部活動にあたっては次に留意する。
- 活動前に健康観察を行い、頭痛・腹痛・睡眠不足等の体調不良者を把握するとともに該当者には活動の制限・中止を指示する。
 - 活動中も1人1人の様子に気を配るとともに、自ら不調を申し出るよう指導を徹底する。
 - 水分を多く持参するよう呼びかける。
 - 15分ごとの休憩を取る。
 - 猛暑日は活動時間を2時間以内にする。
- その他、熱中症対策に有効な手段を積極的に行う。
- 特に夏季休業中の部活動にあたっては次に留意する*

参考

部活動「熱中症対策」マニュアル

より受取

瀬戸市立祖東中学校

H 30 7・18

連日、38度近くの猛暑が続いている。今後は「異常気象であり、熱中症による事故が起こる可能性が高い！」という認識をもって、部活動等を以下のように行ってください。

1 活動前

生徒の健康観察を行い、体調がすぐれない生徒は見学させるなどの配慮をする。

2 活動（1時間単位の活動例）

練習（15分）→ 給水タイム → 練習（15分）→ 給水タイム
→ 練習（15分）→ 休憩・給水（15分）※日陰の風通しの良い所

☆可能なら上記以外にも生徒各自に自由な給水をさせても良い。

☆長期休業中や土日の活動は、猛暑の最中は活動時間を最大3時間とする。

3 活動後

生徒の健康観察を再度行い、体調不良の生徒は保護者に連絡を必ずする。
体調不良の生徒を一人で帰らせるることはしない。

◆体調不良者が出了した場合

○日陰の風通しの良い場所で、水分を取らせ休ませるが、ひとりでは休ませない。

○頭痛・めまい・吐き気等がある場合は、職員室・保健室等エアコンが効く場所で休ませ、濡れタオル等で体を冷やす（一人では休ませない）。

○上記以上の症状（歩けない・返答がはっきりしない等）がある場合は、すぐに救急車（119）を呼ぶ。

「スポ根・熱血部活」は昔話。以前より最高気温が5度近く高くなっていることを強く認識する。「自分が中学生の頃はもっと・・・」は通用しないし、時代錯誤。今の時代は、練習内容も運動科学的な効率の良いものを取り入れることにより運動効果が上がるという考え方。体力作りは、夏の時期は効果はない。涼しくなってから行うもの。

先生方自身も十分にお気を付けてください！！